

# 2016年度受講生より 2017年度受講生へのメッセージ

\*スペースの都合上、もともとある改行は解除し、「1人執筆分1段落」にしております。

## ■ 裁判法Aクラス

- ◎毎回課題がだされるので、バイトやサークルで忙しい人には大変かもしれないが授業を終えた時の達成感がその分あると思う。
- ◎この授業を履修する前に先生から大量の脅しメールが来たので初めは受けるかどうか悩みました。確かに受けてみると課題が多く大変だと思うこともありましたが、今では履修してよかったと思っています。他の授業より得るものが多い気がします。講義の内容はもちろん、論述問題を何回も解くことで得られる力や中々1年生では行くことができない法定教室に行くという経験、友達などを得られました。なにより、この授業は楽しいです。履修するか迷ったら履修するべきだと思います。頑張ってください。
- ◎最初この授業を受けようと思ったのは力になりそうだったからです。思った通りかなり自分の力というのは上がったように思えます。しかし、毎回課題が出るので少しきついと思う場面もありました。年末など実家に帰る新幹線の中で判決書を書いたりも、、、しかしとれば確実に自分の力になる授業だと思います。お勧めします。
- ◎来年度から中川先生ではなくなるので何とも言えないのですが、この講義を受講した人はみんな自分からやりたいと選んだ人でした。なので講義に対する意識が高いし、刺激をもらうことが多かったです。課題が終わってもまた次の課題…という感じで終わりの見えない課題のループでしたが、全部自分のためになっていて無駄なことはありませんでした。大学の講義に物足りなさを感じる。自分の中で何かを変えたい／刑訴法を真剣に学びたい／つらい環境で頑張ってみたい —— そんなひとはこの講義を受講するといいかもしれませんね。(個人的な意見です。)
- ◎非常に面白い授業でした。多少難しい課題等もあったがしっかりと考え、根気強くやっていけば必ずできるし、そうすると継続する力、最後までやり遂げる力が必ず付くと思います。是非、取ってほしいです。
- ◎しっかり課題をこなすのはとても大変なことだと思うけど自分のためになると思うし大学生活をきちんと送ることができると思うので頑張ってください。
- ◎「法律を学びたい」と意思を持って大学に入ったなら、この講義は絶対取るべきです。真面目に取り組めば、終わったあとに自分が成長していることがわかります。民法で論述問題に苦労した方、この講義で力が伸びます。逆に、やる気があまりない、とくにピ逃げ常習の人はやめたほうがいいです。周りの迷惑になるだけですし、ピ逃げで単位が取れるほど甘くないです。そんなことするだけ時間の無駄です。本当に勉強したい人が集まっています。成績云々は関係ありません。自分が勉強をしたいという意思を持っているかどうかです。課題は楽なものも大変なものもあります。できないかも、と今は心配かもしれませんが、そ

の環境に入ってしまうばあとは勝手にやりのけようと意識が働くのでできないなんてことはないです。学びたいという強い気持ちがあるなら、安心して受講してください。迷っている時間無駄です、気になるのならやりましょう。

◎課題が多かったり、ミーティングが多かったりと大変だが、達成感のものすごくあった。この授業をとってからは勉強する時間が増えるようになっていい循環となった。助け合うことの必要性なども学べた。

◎課題では苦戦すると思いますがそれを乗り越えた時の達成感はヤバいです。チームでやるため、周りも仲良くなれます。授業は楽しいので取る価値はあると思います。学校生活に刺激がほしいあなた。授業がつまらないと感じるあなた。ぜひ履修してください(^◇^)

◎毎週出る課題というのはほかの授業ではあまりなく、大変かもしれませんが、法的な文章を書く力が身につくのはこれからの強みになる…はずです！チームワークもなれてくれば楽しいし、興味がある人はとって見た方がいいと思います。

◎通常の大学の授業形態と違い、自分が動かないと全く意味を持たなくなってしまう授業です。ある程度の課題がでます。またそれをやり忘れると周りに迷惑をかけてしまうし、なにより自分が授業についていけなくなります。(授業を休んでも同様) 授業の内容はものすごくためになるものですし、楽しいのでぜひ受講してみてください。

◎課題も多く、チームで集まることも多いからたいへんだが、その分、やりがいがある授業でした。

◎自分は、裁判法なんてただ難しい面倒くさい授業だと思っていました。しかし実際受けてみて、知識の少ない私でもなんとかついていくことが出来ました。また、授業事態面白く、チームのみんなと協力して課題に取り組むので、より楽しいですよ！！！！

◎裁判法Aの授業は大変です。毎回課題も出るし、論述課題は書き方がわけのわからないこともあります。しかしそれ以上に、すべての授業を受け、課題をこなすことで実力がついてきていることに気がつけるし、グループワークがあるから普段学科内でかかわることが少ない法学部でも友達の輪が広がります。本当に楽しい授業です。

◎前期は全くやる気がなくサボりがちだったのですが、この授業をとって勉強の楽しさが分かった。この授業はチームでやるのが前提で自分が課題をやらなければチームに迷惑がかかるし、信用も無くなります。そのことを思いながら課題に取り組みました。僕たちの班では会議は毎回3時間以上かかりました。また、会議前にももちろん自分で課題をやるので、自然と勉強する力が身につくと思います。前期の授業で失望しサボったりしている人、勉強したりなくて、日々モヤモヤしている人は取るべき授業です。毎週課題辛いなと思いますが、終わる頃には、この授業をとっている人とそうでない人と実力の差が出ると思います。一歩先に進みたい人はぜひとってください。

◎法学部らしさを感じられる授業です。課題は多いですがとても自分のためになるので、成長したい人にはおすすめです。

◎授業は慣れるまでは難しいかもしれないが、課題をこなせば2年・3年で法律を学ぶ土台になると思うので、始めたなら途中で切るのはもったいない。

- ◎履修が決まれば捨てずにやりきる。責任感がある人じゃなきゃ裁判法 A は難しいと思う。ちょっとでも興味があるなら、やり切れるかどうか考えて履修してみるべきだと思う。グループワークは大変だけど、友達もできるし、たくさん知識がつくし、考え方も変わる。法律を勉強していきたいなら絶対受けた方がいいと思う。
- ◎毎週課される課題に初めは目くらまを立てるかもしれませんが、そのうち慣れますし、何よりグループの人となら頑張れると思います。是非。
- ◎履修を組んで、「裁判法」という一見難しそうな名前に不安を覚えることもあると思いますが、自分から積極的に動いてみようとする気持ちがあれば、どんどん授業が楽しくなると思うし、最後にはきっと「この授業を取ってよかった」と思えると思います。頑張ってください！
- ◎この授業は課題が多く、しかも難しい。さらには、知らない人と勝手にチーム組まされて最初は戸惑うと思う。しかし、それ以上に得るものは必ずあると思う。同じこの授業を履修した者として是非がんばってほしいと思う。
- ◎この授業は、先生が説明をして生徒がノートをとるといった講義の形式ではなく、自分たちがチームメンバーと意見を交換したりして、積極的に授業に取り組む講義形態なので、眠くなってしまったりせず、楽しく学べる授業だと思います。
- ◎あまり法学に興味が無かったり、大学をつまらなく感じたりする人は、やりがいと達成感があるので取ったほうがいいと思います。
- ◎この授業は、先生の講義を聞くだけの授業と違います。課題は多かったです、必ず力になり自分に返ってきます。こんなに主体的になれる授業は初めてでした。自分は法学部生で、法律について学んでいることに改めて気づけます。ぜひ受講してみてください。
- ◎この授業はいい意味でサボれないし、毎回課題はレベルがどんどんあがり困ることもあったが、得る物は本当に大きい。この講義の色々な情報があるかもしれないがぜひ私たちの言葉を参考にして下さい。やって損はない！
- ◎この授業はとてもやりがいがあり大変ためになる授業です。課題は少し大変ですがその分しっかりと身に付きますので、ぜひ受講してみてください。
- ◎法学部にきて法学部っぽいことしたいなら裁判法Aを受講してみてください。大変だけど達成感がえられます。また、裁判法Aを踏み台に法学に対しての意識も変わるので受けてみて損はまずないです。むしろ、受けなきゃ國學院で法学を勉強する意味がないと言っても過言ではありません。課題もなんとかあります。頑張ってください。
- ◎裁判法や刑事訴訟などの言葉を耳にすると少し難しいだろうと感じるかもしれないが、講義を受けていく中で、少しずつ内容を理解していることに気づき、とても自信をつけることができる。
- ◎かなり大変です。でも、それ以上に楽しい授業です。

- ◎宿題の量は多くないですが、配布される資料等が遅かったりすることがあります。短気の人やそういったことに不満を持つ人、時間に余裕を持ってない人は取らないほうがいいでしょう。それでも、取る人にはきっといい経験にもなるし、友達も増える、視野も広がるでしょう。自分は履修して大正解だったと思います。
- ◎こんなにも自分の限界を超えてくれる授業はないと思います。今まで、苦しい、つらいと思っていた授業がこんなにも楽しんだとも思えてしまうほど恐ろしい授業です。しかし、授業形態はピカールで面白いです。自分の限界をなくしたい、まだまだ成長期を終わらせたくない、自分一人でなく仲間と共に成長したいと思うあなたは、受講すべきです。
- ◎チームワークを大事にして取り組みばきっと乗り越えられます。私はこの授業で法学部に必要な力を付けることができました。きっと人間的にも成長できます。決して楽な授業ではありませんが、ぜひとも履修していただきたい授業です。
- ◎おそらく多くの人が言っていると思いますが、課題がかなり大変です。毎週、こんなに課題に追われるのかって思うぐらいのレベルです。しかもグループを組んで課題をやるのでサボることもできず責任が重いです。課題多いのイヤとか、グループ活動はちょっと…、という人は少し厳しいかもしれません。…とは言ったもののやってみたら想像以上に面白い授業です。難しい、苦手と感じるかもしれないけど、しっかり授業を受けてたらいつの間にか出来るようになってちゃってます。グループもランダムに組むことになるので、普通に学校生活を送っていたら知り合わないような人と仲良くなれます。「せっかく法学部に入ったのに、法学部っぽいことしてねーな」とか「ちょっと変わった授業受けたみたいだな」と思っている人にはオススメです。
- ◎課題多いけど楽しいよ！不器用な自分でも？どうか？なったので！（いやなっていない可能性が高いかも…）ただ、とっても充実しています！すげー力つきます！やって損なし裁判法A！
- ◎大学に入学していざ授業を受けてみると積極的に授業を受けたくても一方的な講義をウトウトしながら聞いている人、大学に入ったからには何か挑戦したいと思っている人、たくさんいると思います。そんな人たちにはこの裁判法Aを受講することを強くお勧めします。受け身で授業を聞くことは少なく基本、固定のチームでの作業が主となります。チームのメンバーと授業や課題をこなすことで一人でやるよりも確実に学習の定着度が上がります。課題が他の授業よりも多いと感じる人は控えめに言ってほとんどだと思います。でも嫌でも勉強する習慣がつきます。他の授業に対しての意識も大きく変わります。半期授業を受けて最後振り返った時、ものすごい達成感と知識や技術が付いてきます。自分自身を褒めたくなるほどに!!受講して後悔することは絶対にありません。
- ◎課題はとて大変ですが、それ以上に身につくことは多いです。裁判法に少しでも興味がある人は受講をおすすめします。受講して損はないです。
- ◎裁判法Aはとてもタメになる授業です。授業はわかりやすく、楽しんで受けることができます。課題が難しく大変なときもありますが、全てやり遂げると達成感があり、自信がつきます。
- ◎5000字の論文は大変そうに見えるけれど全然そんなことはありません。あっという間にできてしまいます。本当です。私は30日に始めて、31日に完成しました。なんと、たったの2日ですよ!!!しかも1日中やっていただけではありません。この感想は時間ギリギリに書いていますが、そんな私でも5時間前に提出できてしまったのです。なかなか大学に入ったのに、人と話す機会が無いという人、勉強に一生懸命に打ち込めないという人。周りに勉強で遅れているのではないかと不安に思っている人。大丈夫ですよ!!この裁判法Aに入ったら、そんな心配いりません。半強制的にグループを組み、半強制的に勉強をし、しかも上位

の人達と勉強できる！非常にお得な授業となっております！！おそらく裁判法 A を受講したら、充実した楽しい学校生活を送れるようになるのではないのでしょうか。

◎まだ法律を習い始めたばかりなので、難しい裁判法を受講するには不安があるかもしれません。でもほかの授業にはない楽しい授業なので是非受講して欲しいと思います。課題も多くて大変だなと思ったこともあったけれど、チームのみんなが助けてくれるし、やりきったあとの達成感はとても良いものです。法学部に入ったのならば、裁判法 A は絶対受講するべきです！

◎かなり大変な講義だと思います。でも本当の意味で勉強をすることが楽しく思えるようになれる。大学に「なにか違う」と物足りなさを感じている人は是非受けてほしいです。

◎前期の授業で物足りないことや不安が残った人は取るべき。絶対に実力がつくし、チームの仲間と親しくなれるから楽しいです。ただ、毎週出る課題のためにチームで集まらなければならないのは大変なので、取る人はやり遂げる覚悟をしておいてください。

◎課題は確かに多く、とても大変でしたが、チームのみんなと確認し合いながらなので楽しく取り組むことができました。

◎たくさん課題を解いていくうちに、自分の力が伸びていくのがわかるとても価値のある授業です。ただ、チームに在籍していなかったものとして言いますと、課題を自主的にこなすなど、自分から勉強していく姿勢が必要になってきます。でも、深く考え込まず楽しんでやれば大丈夫だと思います。頑張ってくださいね。

◎やる気があるなら裁判法をとるべし！後悔することは決してない！！自己の力になること間違いなし！！

◎課題も多いし、この講義を受講することは決して“楽なこと”ではないと思う。しかし、今の学びに不安や不満を抱いている人にはぜひ受講してほしい。きっとその不安は半年後には消えている！断言しよう！私がそうだったのだから！

◎大学入学前、つまり高校では Active Learning 型の授業を体験することはほとんどなかったかと思います。先生が黒板にパーツと板書して、それを生徒がザーツとノートに写していく。大半がコッチだったかなと思います。大学でもこのタイプの講義は多いです。でもこの「裁判法 A」ではガッツリ Active Learning 型です！僕はコッチの方が好きですね。グループを作って講義で扱ったことを復習しながら講義時間外に集まって揉む。自主的に集まって議論していくうちに講義の内容や法的意見表明の型がインプットされるんです。あ、回し者じゃないので良い事しか言わない訳ではないですよ？ほとんど毎回の講義で課題が出ます。もちろん講義に参加しなければ解けないです！知識の復習や具体的な事例を使った意見表明など…かなり大変です。おまけに中間試験なんかあったりして…。でも、この講義は絶対取ったほうがいいです。ここで得たものはほかの講義だけでなく、「社会に出て自力で生きていくために必要なスキルを習得できるスタートライン」という感じかと。法学部としても、一人の人間としても成長できる講義だと思います。(大げさではなく、僕はそう思いました。)もし裁判法 A を取った人は頑張ってください！

◎一年生のうちから詳しく法律を学ぶことができるのでお勧めです

◎少しでも学んでみたいと思ったらとったほうがいいです。とても面白い授業でした。課題をやっていくうちに、自分の変化に気づくと思います。

- ◎ほぼ毎週、課題があるのでチームミーティングをする際に誰かに任せたり、課題をやらない人が一人でもいたらチームの雰囲気が悪くなります。そういう雰囲気を作らせないことと課題を自分はきちんとやることを心に決めて受講することをお勧めします。これらのことを心に決めて受講すれば間違いなく、力は身につきます。
- ◎裁判法では、民法や憲法の授業と違った刑事法の導入を学ぶ事ができます。この授業をやり遂げれば法律を駆使して法的意見表明を書くことができるようになります。
- ◎意識高い系法学部生になれます。法学部法律学科法律専攻ってだけでもなんとなく意識高いって感じがありますが、この授業でもっと意識高い系になれます。課題も頑張ればなんとかなります。
- ◎この授業を真面目にやると、大変です。けれど、法学部に入ったという実感は、受講していない人より絶対に得ることができます。具体的に私が実感したのは、法学的な思考ができるようになることです。せっかく法学部に入って、裁判法 A が受講できるチャンスがあるのなら、とってみることをおすすめします。それと、一緒になったチームの人たちは、半年間一緒にがんばることで、ほかの授業ではなかなか得られない貴重な仲間になると思います。
- ◎はじめは案外イケると思ってたらだんだん課題が多くなってきて大変になると思いますが法的意見表明は慣れが大事なのでたくさん書いて書いて慣れていくことが大事だと思います。また、グループのメンバーもかなり大切だと思うのでもしメンバーに不満があれば授業を進めるうちにグループは解散しづらくなるので、早めに解散するのが良いと思います。ほんとに良い授業なので履修することを勧めます。
- ◎言いたいことは一言です。先生の初めのいびりに負けて諦めようとしなさい！ やって見ないと楽しさもやりがいも何も感じられないぞ！ とりあえず、履修しよう！ 生きた法律に触れてみよう！ 友達も増えるよ！
- ◎法学部として実力をつけていきたい方にお勧めです。課題の量は確かに多いかもしれませんが、授業をしっかり聞いて取り組めば、自分の手で解くことができます。むしろ、少し大変だと感じるような課題を解くことで、実力がつき、自信を持てるようになります。しかし、チームワークを行うので自分以外の人があまり熱心な人でない場合、最悪ほぼすべての事を自分ひとりで行うことにもなりかねません。実力はより着きますが、精神上あまりよろしくありませんので、お友達と一緒に受講することをお勧めします。同じ班になれなくても、相談できる相手がいるだけで大分違います。
- ◎このメッセージを皆さんが見ている、ということは、中川先生から次の先生へ引き継ぎが上手く行った、ということですね、多分( ) 昨年度、皆さんと同じように先輩方のメッセージを読んでから裁判法 A の受講を決心した者です～(ドンドンパフパフ) 中川裁判法、正直めっちゃめっちゃ課題がしんどかったです特に判決書 5000 文字。まあ、他の先生に変わる皆さんはそこまで課題に苦しまないとは思いますが、でも、中川裁判法を知ることが出来ない皆様は誠に残念極まりない受講タイミングでしたね。来年度の中川先生の他の授業にご期待ください^^ (真面目な話、裁判法は2. 3年次の授業への入門編として扱われることもあるので、刑事法なんかに興味があるかたはとっておいたほうが良いと思います…)
- ◎私がこの講義への受講を決めた理由は日弁連実施の法学検定の学習で刑法に興味を持ったためです。刑法は罰則を旨としますが、被告人及び服役囚の処遇を定めた刑事訴訟法や他の刑事法あつてのものです。刑事法学習への一歩として非常にためになる講義です。
- ◎課題をみんなですっかりこなせば、この講義ほど有益で楽しい時間はないと思います。

- ◎出会ったばかりの人とコミュニケーションを取ることが苦手な人には少し大変な授業だと思いますが、最初の2、3回を乗り越えれば楽しめる授業でした。冬休みの課題はたくさんの文字を書くことに慣れていないと大変です。
- ◎ほかの授業とは大きく違って、参加型の授業であるため身をもって体験できることが多く、今後大きな財産になると思う。インプットするだけでなく、アウトプットできることがこの授業の魅力だと思う。
- ◎とにかくやることが沢山あります。覚える量も多ければ、書かなくてはならない量も尋常ではありません。その代わりに得るものも沢山あります。普段からチームミーティングを開くことによって議論の進め方を知ることができたり、能動的に参加することによって知識の定着度合が他の授業の追従を許さないほど顕著なものになります。一度やると決めたからには、最後までやり通すことが大切です。きっと役に立つと思います。騙されたと思って受けてみてください。
- ◎裁判法 A では、刑事訴訟法を学びます。よく漫画やアニメの題材にもなるいわゆる「刑事モノ」のリアルを学ぶ良い機会ですよ。ぜひ受講してください！
- ◎冬休みの5,000字レポートがとても大変だった。しかし、この授業は大変だけど、楽しいので履修した方がいいと思います。
- ◎なんとなく法学部にはいってなんとなく日々を過ごしているそのキミ。基礎から学ぶ大切さを思い出せる貴重な授業だと思います。
- ◎授業参加や課題提出など当たり前のことができなければ苦勞するかもしれません。課題は多く大変でしたがとてもためになる授業で、法学系の授業で1番好きな授業でした。この裁判法 A の成績、チームのモチベーションを保つためには毎回授業に出席することで、毎回出された課題をこなすことが必要不可欠であり、最低基準であるので、これができるのであれば、ぜひ受けてほしい。
- ◎初めは課題の多さに驚きますが、その分多数の人たちと協力しあいこなしていくので充実した環境だと思います。必ず自分の成長に繋がると思います。
- ◎法律は覚えるのが大変だったり内容も難しいと思いますが、その分奥が深くとても面白いです。楽しんだもん勝ちです。
- ◎授業外での宿題、チームでのミーティングはとても大変でした。部活をしていると課題をしている暇がない。半年間受講して得られたものは大きかったと思います。
- ◎法律や裁判など堅いイメージがあるかもしれないがこの講義は別で先生、周りの生徒の全てが明るいので楽しく知識を身に付けられると思います！

## ■ 刑事手続法概論クラス

- ◎課題はきつかったけど、チーム制だったり、初めて経験する事も多く楽しかったです！悩んでるならとった方がいいと思います。
- ◎この授業をしっかり受ければ、かなり成長することができると思います。チームのみんなと協力して頑張ってください。
- ◎この授業はほかの法律科目よりもとつきやすく楽しいものである。しかし課題の量や自習の量は一年次の科目の中でダントツに多い。しかし終わった時の解放感と達成感は今までの苦労に比例するものである。
- ◎この授業は非常にわかりやすく面白いです。去年度の受講生のメッセージを読んで、相当厳しい授業だと覚悟していたのですが、全然難しいことは扱わないし、入門的な部分を非常にわかりやすく解説してもらえし、刑事手続というものに興味が持てます。課題も、最初は少々手間取るかもしれませんが、授業でやったことをしっかり勉強すれば、回数を重ねるごとに、苦勞せずできるようになります。大変だったのは5000字のレポートぐらいで、他に辛かったと思ったことは特にありませんし、授業や課題は自分のためになるので、この授業をとる価値は十分にあると思います。
- ◎授業も課題もチームでやるものなので、一人でもサボったりする人がいると、チームが機能しなくなります。なので、責任を負わされるのが嫌な人やチームになることが嫌な人は受講しないことをお勧めします。また、この授業の課題は、一回分が膨大な量あるのに対し、期限が一週間程度であり、他の授業の課題もあるので本当に大変です。受講するならば、それなりの覚悟が必要です。
- ◎毎回課題が出て大変だと思いますが、授業が終わる頃には絶対力がつくと思うので頑張ってください。
- ◎一番初めは一番苦痛な授業だったけど、週を重ねるごとに、知識が増えているのを自分で感じる事ができた。最後まで楽な授業だと思えることは絶対ないけど、知らないうちに知識が増えていくので将来法律に関する仕事に就きたいならこの授業は取って損はないと思う。第一印象が一番悪い授業だったのに今となっては一番好きな授業となった。
- ◎チームメンバーに協力できないとこの授業を乗り越えるのは難しいと思います。それくらいチームでの作業がとて多く、大変な授業です。しかし、チームに所属することによって自分の能力値が見えてくる上に、コミュニケーション能力が自然に身につけられるととてもいい授業だと思います。チーム作業が多いなんて、と最初はとてもいやな気持ちで授業に臨んでいましたが、授業を重ねていけばその気持ちも段々と変わっていきます。先生の授業は面白くて、楽しいです。課題が多くて何度も挫けるとはいますが、逆に課題さえ最後まで頑張って乗り越えればこっちのものです。最後まで諦めないで頑張ってください！
- ◎講義以外にミーティングをしなければならないので、少しめんどくさく感じるかもしれない。事例問題は今後の法律科目においてとても重要なものになった来るので、その解き方を学べるからとても役に立つ。
- ◎課題の量は多いです。授業が詰まっていたり、ほかの授業で課題が多めに出たりすると途端にきつくなります。そうでなくても大変ですが、その分最後までやり遂げれば、法的意見表明といった文章の論述能力は上がります。法律専門職専攻だと義務履修なので取らざるを得ませんが、やりきる覚悟とモチベーション維持の目標は必要です。



- ◎この授業では1チーム4,5人のグループを作り毎週授業外で各自がやってきた課題について議論しますが、課題は長くても2時間程度で終わるもので、最短だと数十分で終わるため、課題はそれほど心配することではないです。グループ活動も最初は知らない人と話し合うため緊張するかもしれませんが、授業が何回か進むと周り話しやすくなり、いい経験になると思うので頑張ってください。
- ◎課題が出たらやらなければなりません。なぜならやらないとチームのメンバーに迷惑がかかるからです。宿題という形で出たものを一人ではいつもほったらかしにしてしまう人にとっては成長するチャンスだと思います。
- ◎この授業は毎回のように課題があったり毎週ミーティングをしなければならず正直めんどくさいです。履修登録のときにはやる気があっても最後の方にはやる気はなくなります。ただ、法律の基礎を学ぶことができ、自分の力をつけるにはもってこいの授業です。やるかやらないかは自分次第です。
- ◎この授業は、楽ではありませんがやり通すことで、思考力や協調性が身につけることができるので、これから受ける皆さんも頑張ってください。
- ◎まず、最初の授業に関するメールで先生に対する興味がすごい湧いてくると思う。授業ではグループワークが基本であり、課題が多く苦勞するかもしれない。だが、グループという部分をうまく活用しみんなで協力することは、少しは就職につながるかもしれない。そのようなことを考えたら、この授業をとって損することはないと思う。というよりは是非受講してほしい。
- ◎他の授業よりもやるべきことが明確に示されているのでありがたい授業といえると思います。法的意見表明はめんどくさいかもしれないけど毎回必ず提出しないと後々、自分がつらくなると思います。
- ◎法律の勉強がまっつったくわからなかった自分でもわかるようになった、専門職はつらいけど頑張って！！  
(僕は転専攻をします)
- ◎昨年度の先輩にさんざ脅されましたが、大体そんな感じです。やることをやれば楽しい授業です。
- ◎毎週課題が大変で、寝る暇も惜しんでやったときもあって、とても大変。
- ◎全体的に課題やプリントが多くて管理が大変ですが、とてもやりがいがある授業です。ぜひ頑張ってみてください。
- ◎この授業は正直課題が多いしグループで時間を合わせ話し合うこともあり大変だと思います。しかし、中川先生の指示の通り毎回課題をこなせばおそらくこの授業についてはもちろんほかの授業の課題にも取り組みやすくなると思うので頑張ってください。
- ◎最初は、法律の授業でグループワークかと思ったが、次第に慣れてきて安心します。しかし、課題が多く、特に法的三段論法が初めのうちは大変だが、チームで協力し合えば乗り越えられると思います。
- ◎課題、大変だけど授業は楽しいです。ただ眠いだけの授業と違ってためになるし刑事法関連が好きになると思います。授業は楽しいです。本当に。グループワークについてですが、色々な人の意見を聞けてとてもためになる事もありますが、責任感があまりない人はおすすしません。個人単位でやったほうが面白いです。グループで一回失態起こすと、引きずるので事あるごとに責任感を持って行動した方が良いと思います。

- ◎この講義は、講義に付いて行くのは非常にしんどいですが、講義を終わった後に勉強面以外の物でも多くの事を学べる事を実感出来ると思います。課題が非常に多く大変ですが、きっと、自分の役に立つ講義だと思うので受講する価値は十分にあると思います。
- ◎最初は大変ですが、すぐに慣れます。チームミーティングが楽しいです。
- ◎たかが半年、されど半年。頑張ってください。
- ◎この授業は授業以外でもチームミーティングがあったり、課題があるので普段から勉強する癖がない人にとってはかなり辛いと思います。でも、刑事手続法の知識だけでなく論述問題を解く力も付きます。一石二鳥です！ 刑事手続法に興味がないから取らないっていうのはもったいないです。とりあえず受けてみるといいと思います!!□
- ◎私は専門職専攻なので専門職専攻の人に向けて書きます。皆さんは残念ながら(?)この授業を受けなくてはなりません。ただでさえ法律科目が多い専門職専攻なので正直勘弁してほしいと思っている方も多いと思いますが、この授業から学ぶことはたくさんあります。めんどくさいと思うかもしれませんが頑張ってやってみて下さい。終わるころにはやってよかったなと思えるはずですよ。
- ◎この講義は毎回のように課題やチームミーティングがあるのでとても大変ですが、講義を受け終わる頃には受ける前とは違う相当な力が身につけており、必ず受けてよかったと思わせてくれるような講義内容になっています。頑張ってください。
- ◎最初は、刑事手続法概論の授業はとても大変と聞いていたので、全く法律の知識もないような私が授業についていけるのかと心配でした。しかし、チームで課題を解くことにより、自分の分からないものはチーム内の友達で補うことができるし、新たな視点から、自分の思いつかなかった発想なども友達から教えてもらったりして、毎回苦労しながらも、確実に自分の力になっていったと思います。確かに課題の量が多く、大変でした。冬休みに5000字のレポートが出たのですが、その時もとても苦労しながら進めました。ですがその分終わった後に物凄く達成感を感じました。大変な授業の分、やりがいは感じられると思います。
- ◎たまに怖い文面のメールがきますが、授業はとてもためになるので頑張ってください。
- ◎課題量やグループワークによる責任感のほかの授業の比ではないが、その分得られるものは大きい。ほかの授業では、事例問題の解き方・書き方など例をあげてこんなにしっかりと明確に教えてはくれないがこの授業では教わることができる。わからないときもグループで話し合ってから提出するので相談することができるし一人ではわからない問題も班員と相談して練りながら考えることができる。授業の初めに勇気ある撤退を勧められたりしますが、そこで意を決して受けるという決断をすればその分得られるものも大きい。
- ◎僕が授業をしてもらった中川先生とは違う先生に刑事手続法概論を教えてもらうことになると思いますが。この授業を通して法的意見表明など他の法律科目に必要な力がつくので授業はきついですけど受けて良かったと思える授業だと思います。
- ◎法学部にいるってことを一番実感できる授業です。毎週課題が出るけど授業を聞いて教科書を見れば必ず解けるレベルなので大丈夫です。関わったことのない人とも仲良くなれるし楽しかったので最終的には履修して良かったって思うと思います。

- ◎課題は非常に大変だけど、しっかり取り組んでいけば分かるようになります。最初の頃はまったくわからないことも最後にはすっきり理解できます。受け身の授業に飽きたらとるべきです。
- ◎他人と法律の話をする貴重な体験になると思います。最後まで受講できたら必ず力が身につくと思うので頑張ってください。チーム課題が多くとても大変でした。とても身になる授業でした。
- ◎(中川注:ファイルが開けなかった)
- ◎来年はわかりませんが、今年は課題がすごく大変でした。しかし授業はとても有意義です
- ◎講義外で集まるなんて面倒だと思うかもしれない。しかし、確実に言えるのは、一人で学ぶよりも楽しく深く刑事訴訟法について学ぶことができるということだ。
- ◎とりあえず課題が毎回出るため忍耐力が必要だが、これをやっくと民法、刑法などにも役立つため頑張ってもらいたい。
- ◎グループで話し合いをしたり、協力して課題をこなしたりするのが中心となっている授業で、他の授業とは違って新鮮に感じられるので、楽しく学ぶことができる授業です。大切なのは、課題にはきちんと取り組むことだと思います。